

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 28章 5-10節 (新約聖書59頁)

天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』確かに、あなたがたに伝えました。」婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

ガリラヤで待っている

弟子たちはイエス様が今も共にいることをどこで確信したのでしょうか。天使は婦人たちに「ガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる」と、イエス様自身も「ガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになっている」と言っていました。

イエス様はガリラヤの湖で漁師を弟子にし、ガリラヤの丘で「空の鳥を見なさい、野に咲く花を見なさい」と話をされました。そしてガリラヤの貧しい人、病にある人、心や身体の不自由な人々に手を差し伸べて触れ、共に食事をしました。

「ガリラヤで会うことになる」というのは厳しい自然の中で、弱い人間が互いを慈しみ、愛し合うために、イエス様が弟子たちよりも先にガリラヤへ行き、弟子たちが来るのを待っておられるということです。

英和の校歌には海、富士山、賤機山、安倍川の営みに囲まれ学ぶ英和生の姿が歌われています。遠くの海原に思いを馳せ、雄大な自然、新緑の息吹を感じましょう。そして今も、わたしたちが互いに愛し合うために、イエス様が先にいて待っておられるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

祈りましょう

復活され救い主として共にいて下さるイエス様、あなたはガリラヤで弟子たちを待っていてくださいました。あなたは弟子たちとガリラヤの湖を旅され、神様の国を伝え、病にある人々を癒やし、友のない人の友となられました。どうかあなたの造られたいのちに囲まれ学ぶ英和生と共にいらして守り導いてください。そして世界で困難な生活にある人々に心を寄せ、あなたが一緒におられると信じ、共に仕える道へと歩ませてください。また近づくメイプルコンサート、スタディツアー、研修の準備をする英和生を祝福し、よき備えと学びの時をお与えください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン